

## 調査目的

- へき地・離島での輸血使用状況（輸血管理体制と使用状況の推移）の調査結果とその対策について、及び、小規模医療機関での廃棄減少と適正使用の推進のため、小規模医療機関での輸血管理体制・使用状況についての調査結果と対策について、検討する。

## 調査方法・対象

日本輸血・細胞治療学会への委託により実施

## 調査内容

### 【1】基本的事項

#### 1) 医療機関の概要について

1. 病床数について（一般病床数、療養病床、精神病床、感染症病床、結核病床など）
2. 医療機関の種類について（地域医療支援病院、特定機能病院、臨床研究中核病院、へき地医療拠点病院など）
3. 診療科について
4. 手術件数等について（全身麻酔件数、帝王切開件数、心臓・大血管件数、移植件数（造血幹細胞移植、臓器移植別）、治療的血漿交換療法件数など）
5. 救急医療の体制について（救急指定病院、救命救急センター、高度救命救急センターなど）
6. 血液製剤の管理システムの有無について
7. その他、医療機関の概要に関することについて

#### 2) 血液製剤の納入状況

1. 輸血用血液製剤の年間納入本数について
2. 輸血用血液製剤の廃棄本数
3. 血漿分画製剤（免疫グロブリン製剤、アルブミン製剤）の年間入手本数について
4. 血漿分画製剤の廃棄本数
5. その他、血液製剤の納入状況に関することについて

### 【2】輸血療法の体制について

#### 1) 血液製剤の管理について

1. 輸血部門の設置について
2. 輸血責任医師（専任・兼任）の有無について
3. 輸血専従の臨床（又は衛生）検査技師の配置状況（常勤、24時間体制等）について
4. 輸血療法委員会の設置の有無について
5. 輸血療法委員会の令和4年度の開催回数及び委員の出席率について
6. その他、血液製剤の管理に関することについて

### 過去の調査結果の活用

- ・血液製剤の平均的使用量について（平成16年12月27日薬食発第1227001号）
- ・血液製剤の使用指針（平成31年3月一部改正）
- ・輸血療法の実施に関する指針（令和2年3月一部改正）

（参考）安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律の基本方針

国は、医療機関における血液製剤の使用状況について定期的に調査し、適正使用の推進に必要な方策を講ずること。

# 令和5年度血液製剤使用実態調査事業の概要②

## 調査内容の続き

### 2) 輸血関連の検査体制について

1. ABO血液型検査の実施状況及び検査内容について
2. 緊急時の異型適合血の使用状況と輸血検査体制について
3. RhD抗原検査の実施状況（院内又は外部機関）及び検査内容について
4. 不規則抗体スクリーニング検査の実施状況（院内又は外部機関）及び検査内容について
5. 輸血前検体保管の状況について
6. 輸血後検体保管の状況について
7. 輸血前感染症検査の実施状況について
8. 輸血後感染症検査の実施状況について
9. 血液型ダブルチェック（二回採血による確認）の実施状況
10. その他、輸血関連の検査態勢に関することについて

### 3) 輸血療法の安全管理について

1. 輸血用製剤の使用について業務手順書の整備状況について
2. 輸血用製剤の使用について業務手順書の実施のための措置の状況について
3. その他、輸血療法の安全管理に関することについて

### 【3】使用実態について

#### 1) 輸血用血液製剤の使用実績について

1. 年間の輸血用血液製剤の投与患者数（のべ人数、実人数）
2. 年間の輸血用血液製剤の投与本数（製剤別、診療科別、投与場所別）
3. 年間の放射線未照射輸血用血液製剤（日赤血・院内血）の使用の有無、使用量及び使用理由について
4. 外来輸血について
5. 病院外（介護施設・在宅）輸血について
6. その他、輸血用血液製剤の使用実績に関することについて

#### 2) 免疫グロブリン製剤の使用実績について

1. 年間の免疫グロブリン製剤の投与患者数（のべ人数、実人数）
2. 年間の免疫グロブリン製剤の投与本数（製剤別（静注・皮下注等）、診療科別、投与場所別）
3. その他、使用病名等、免疫グロブリン製剤の使用実績に関することについて

#### 3) 輸血用血液製剤・免疫グロブリン製剤以外の製剤の使用実態について

1. 自己血輸血について
2. 院内調製の製剤について
3. その他、輸血用血液製剤・免疫グロブリン製剤以外の製剤の使用実績に関することについて